（報告事項）

第1110回経営委員会資料
平成22年1月12日

# 平成21年度第７回
# 視聴者のみなさまと語る会　開催報告書
# （平成21年11月28日開催）

経営委員会事務局

＜会合の概要＞

「経営委員会による受信者意見聴取」の平成 21 年度の７回目は、金沢放送局で実施し、「放送」「経営など全般」の２つのテーマで、公募による 67 人の視聴者の皆さまからご意見を伺った。

＜会合の名称＞

視聴者のみなさまと語る会～NHK経営委員とともに～ｉｎ金沢

＜会合日時＞

平成 21 年 11 月 28 日（土）　午後２時から午後４時 20 分まで

＜出席者＞

【経営委員】岩　崎　芳　史（委員長職務代行者）
深　谷　紘　一（委員）
野　間　光輪子（委員）
【執行部】　今　井　義　典（副会長）
永　井　研　二（技師長）
牧　野　　力（金沢放送局長）
【視聴者】　公募による視聴者 67 人
【司　会】　末田　正雄アナウンサー

＜会場＞

金沢放送局　第１スタジオ

＜開催項目＞

以下のとおり進行した。

１　開会あいさつ
２　経営委員による説明
　協会の基本方針その他協会の運営に関する重要な事項について
３　意見の聴取
　（1）NHKの放送について
　（2）NHKの経営など全般について
４　閉会あいさつ

「視聴者のみなさまと語る会」終了後、金沢放送局アナウンサー（福井慎二、二見和男、宮崎浩輔）、キャスター（安井千紘）による「キャスター・トークショー～放送の舞台裏～」を開催した。

＜概要・反響・評価＞

○はがき・ホームページで受け付ける公募の結果、計 94 人の参加申し込みがあった。会場の収容力の範囲内であることや、できるだけ多くの視聴者の方々にご来場いただきたいということから全員に案内を送付した。その際、参加者の意見の把握と参加意思の確認のために事前アンケート調査を実施したところ、66 人から回答・返送があり、57 人が参加すると答えていた。当日は、67 人が来場・参加した。

○会合は、「放送」と「経営など全般」の２つのテーマを設定し、進行した。参加者からは、地域放送、ラジオ放送、データ放送、受信料についてなど幅広く示唆に富む意見・提言が多数寄せられた。
最後に、岩崎委員長代行から「ＮＨＫのこれからを考える上で糧となる多くのご意見をいただいた。意見の一つひとつが、私たちの骨身にしみた。いただいたご意見を今後に生かして、よりよいＮＨＫにしていきたい。」と述べて会合を締めくくった。

○全員が発言する時間がなかったため、当日も意向収集のアンケート調査を行い、参加者 56 人から回答があった。回答者は、20 歳代５人、30 歳代３人、40 歳代 14 人、50 歳代５人、60 歳代 16 人、70 歳以上 12 人等、各年齢層の参加を得た。

○参加者の満足度については、「たいへん満足」あるいは「満足」と答えた人が 66%、「ふつう」と答えた人が 30%、「不満」と答えた人が４%であった。

＜ 開 催 内 容 ＞

（深谷委員）

◆協会の基本方針・重要事項を説明

○ 経営委員会の役割は、NHKの経営方針を議決することと、NHK執行部の職務の執行を監督することです。また、経営委員の中から監査委員が任命され、監査委員会は経営委員会を含む役員の職務執行を監査します。このように、昨年４月１日の放送法の改正により、経営委員会の機能・権限が一層明確化されました。

○ その権限を正しく行使するために、視聴者の皆さまのご意見を直接伺う「意見聴取」を行うことも放送法に定められました。視聴者の皆さまのご意見を伺って、経営委員会の運営に生かしていきたいと思います。

○ NHKでは、昨年10月に平成21年から23年の３か年経営計画を公表しました。

・経営計画では、「いつでも、どこでも、もっと身近にNHK」をスローガンとして、「NHKと視聴者のみなさまをつなぐ２つの経営目標」を立てました。１つ目は、NHKへの接触者率を３年後に 80％にすることです。２つ目は、受信料の支払率を３年後に75％、５年後には78％まで高めることです。

この経営目標の実現のために具体的な９つの経営方針を立てました。

・方針１「視聴者のみなさまの信頼を高めるため組織風土改革に全力をあげます」。公共放送を担う人材の育成強化とコンプライアンス、いわゆる法令順守を徹底していくことを目指します。

・方針２「日本の課題、地球規模の課題に真正面から向き合います」。報道・ジャーナリズムを強化し、NHKの取材・制作力と豊富な映像を最大限に生かした、質の高い番組をお届けします。また衛星放送は現在の３波を高画質・高音質のハイビジョン２波に再編することを検討しています。

・方針３「放送・通信融合時代の新サービスで公共放送の役割を果たします」。昨年12月からは、NHKオンデマンドサービスが始まりました。

・方針４「地域を元気にするための拠点となります」。放送局が地域の皆さまをつなげる場となり積極的な交流、地域再生のための拠点の役割を果たしていこうという取り組みです。

・方針５「日本を、そしてアジアを世界に伝えます」。外国人向けの英語による24時間のテレビ国際放送を今年の２月から始めました。日本・アジアの政治・経済等の最新情報や、日本の課題や政策、伝統文化や美しい自然風土などを広く世界に伝えていきます。

・方針６「円滑な完全デジタル化に向けて重点的に取り組みます」。デジタル化に向けて放送局の設備や電波を中継する中継局の整備などを、これからも着実に進めます。

・方針７「構造改革を推し進め、効率的な体制で受信料の価値をより大きくします」。限りある経営資源を放送の取材・制作現場にシフトして放送サービスの充実に努め、視聴者の皆さまからいただく受信料の価値を高めていきたいと考えています。

・方針８「受信料を公平に負担していただくための取り組みを強化します」。受信料を公平に負担していただくための取り組みを強化し、支払率を高めます。また効率化を進め、

受信料収納にかかる経費を抑制します。

・方針９「環境経営に着実に取り組みます」。放送やイベントを通じて環境問題を継続的かつ重点的に取り上げるとともにＮＨＫ自らが排出する$CO_2$や事業系廃棄物の削減に取り組みます。

・経営２目標、９つの経営方針を着実に遂行することで、平成24年度から受信料収入の10%を視聴者の皆さまに還元します。

具体的な還元の方法については、平成21年度から受信料体系全体の総合的な検討に着手し、最適な方法を視聴者の皆さまにお示ししたいと考えています。

・経営委員会は３か年経営計画が年度ごとに着実に実行されているかについて、執行部が四半期ごとにまとめる四半期業務報告に基づき、その進ちょく状況を検証し、執行部を監督してまいります。

○　３か年経営計画は、「すべては視聴者のみなさまのために」を原点に作成しました。21 年度は３か年経営計画の初年度としてたいへん重要な年です。放送と通信の融合、デジタル時代の到来など、内外の状況の変化があっても、ＮＨＫが皆さまの信頼と受信料で成り立つ公共放送である限り、この基本は変わるものではありません。皆さまからいただいたご意見・ご要望は、私ども経営委員会はもちろん、執行部ともども共有をして、今後のＮＨＫのあり方に反映させていきます。

《視聴者の皆さまからのご意見とＮＨＫ側からの回答》

第１のテーマ：ＮＨＫの放送について

【会場参加者】

まず、このような機会を持っていただきましたこと、また、以前、大河ドラマ『利家とまつ』を放送していただき、地域の活性化につながったことへの御礼を申し上げます。

平成26年に北陸新幹線が金沢まで開業することが予定されています。それにあわせて、朝の連続テレビ小説がご当地で制作されるようお願いします。

それから、放送が与える影響の大きさを十分に認識していただきたい。ニュースなどで、被害者をアップしにして意見を求めたりすることがありますが、私たちはそこまでは見たくありませんので留意してください。

それから、今、景気がどん底の状況です。地域の活性化を図るため、一生懸命頑張っている企業や、その取り組みなどを積極的に取り上げていただければと思います。

それから、アナウンサーのしぐさ、あるいは身だしなみが非常に気になるときがあります。やはり公共放送ＮＨＫは、みんなが見ています。放送に対する謙虚さを持って、留意してください。

【会場参加者】

私が住む能登は、少子高齢化や人口減少等、たいへん厳しい状況が続いています。その中で、先般七尾市で行われた仲代達也さん率いる「マクベス」のロングラン公演をＮＨＫが放送で取り上げてくれたことで、地域が元気になりました。アピールしていただいたことにたいへん感謝しています。

経営方針にもある「地域を元気にする」ため、ぜひ能登地区を取り上げていただきたいと思います。

【会場参加者】

能登半島は、本州最後のトキの生息地です。ＮＨＫでもトキを取り上げた番組がありますが、それを教材にしていただきたいというお願いです。教材にして義務教育の段階で見せることができれば、能登の自然がいかに恵まれているかを教えることもできます。来年、金沢放送局は開局80周年です。その記念行事などでも取り上げられれば、トキの保護にかかわっている人たちは、たいへん力づけられると思います。また、今年中に佐渡から石川県に分散飼育がされると聞いています。そうすると、金沢放送局80周年が、石川県のトキ復活元年になります。

(牧野局長)

ＮＨＫ金沢放送局は、全職員約80人で番組をつくり、営業活動を行い、イベント等を地域の皆さんと一緒になって実施しています。ただ、金沢局だけでできることには限界があります。ですから金沢局内で企画を考えると同時に、本部にも石川県を素材にした番組を一緒に作ろうと働きかけています。

「マクベス」については、今後も12月の金曜日夜８時の『金とく』という番組で、仲代さんたちが市民の人たちと一緒にどのように舞台をつくり上げたのかを紹介します。さらに同じく12月

に、教育テレビの『芸術劇場』で「マクベス」の舞台すべてを全国の方に見ていただくことにしています。

このように、金沢放送局でできること、オールNHKだからこそできること、その両面で地域の話題を放送に結びつけていきます。

朝の連続テレビ小説を、というお話がありましたが、私も県内各地で「『利家とまつ』はよかった、次はぜひ朝ドラを」という声をいただいています。本部に対して、石川県の皆さんが連続テレビ小説を心待ちにしていることや、能登や加賀の話題、金沢の若い人たちが取り組んでいる伝統工芸の話題などを売り込んで、地域の文化発信ができるよう努めています。

地域の活性化については、このスタジオで放送している『デジタル百万石』の「企業の力」のコーナーで、不況下でも県内で頑張っている企業を紹介しています。これからも皆さんが元気になるような番組をお届けしていきたいと思います。

(深谷委員)

経営委員は、全国各地方が公平に代表されるよう考慮して選出されています。私自身は、ここ東海・北陸選出です。経営委員会では、地域への予算配分や人材配員を手厚く行うよう求めていますし、地方があっての本部だという意見も多く出されています。執行部からは経営計画の進ちょく報告の中で、各放送局の取り組みが四半期ごとに報告されています。私自身も、中部地区向け番組の『ナビゲーション』『金とく』で取り上げた内容が後に全国でも放送され、非常にうれしく思いました。ですから、この地区の話題をもっと取り上げてほしいという皆さんのお気持ちは十分に理解しております。

(岩崎代行)

ＮＨＫでは、各放送局が地域を元気にするための拠点になることを３か年経営計画に掲げました。各放送局から地域での取り組みの報告を受け、それに基づいた予算を年度ごとに充実させていきます。経営委員会としては、単に表面的なものではなく、地域に密着し、入り込む形で取り組んでほしいと執行部に求めています。

(野間委員)

石川県の珠洲地区での地上デジタル化に向けての取り組みは、全国的にたいへん有名になり、注目されています。

(末田アナウンサー)

珠洲地区では、今年７月に、これまでのアナログ放送を１時間だけ停め、デジタル放送だけにするというアナログ放送の終了リハーサルを行いました。来年１月にも２回目のリハーサルを行い、その後全国に先駆けて１年前倒しで完全デジタル化することが予定されています。

【会場参加者】

経営方針４にある「群馬県、栃木県で県域テレビ放送サービスを開始する」とは、どういうことでしょうか。

それから、各地域のケーブルテレビ局と上手に連携を図ってはいかがでしょうか。ケーブルテレビのように身近さがテレビから感じられれば、地域の活性化を図り、ＮＨＫのファンを増やすことができ、視聴率も上がると思います。ケーブルテレビが受信料の徴収をしているケースもあ

りますし、うまく組み合わせることができればと思います。

【会場参加者】

以前、医療制度の問題で、医療関係者や視聴者代表のほか、いろいろな立場の方が集まって、激論を戦わせた番組がありました。あの番組は、これからの医療のあり方について私たちが考えさせられる、心にしみる番組でもあり、本当に大事な番組だったことを覚えています。

それから、NHKで他の民放の番組が紹介され、それぞれの制作者や広告代理店の方、視聴者が一緒に討論する番組がありました。この番組を見て、NHKだけではなく、他社もいい番組を作ろうと努力していることがわかり感心しました。NHKが他社と一緒に番組を作ったことはとてもよいことだと思います。これからも、ただおもしろいだけではなく、私たち視聴者が考えさせられる番組を強く望んでいます。

【会場参加者】

厳しいことを６点言わせていただきます。

１点目は、日本唯一の公共放送NHKは、日本国民にもっと元気を与える放送をしてほしいと思います。

２点目は、子どもたちに明日への期待が持てるような番組をお願いします。

３点目は、凶悪事件などのニュースで、われわれが知りたくない事件の詳細が放送されることがあります。これは、悪いことの手段を教えているような気がしますので、見直してください。

４点目は、深夜に、単に過去の記録映像が放送されているときがあります。新鮮味がないので、省エネのためにもやめたほうがいいと思います。

５点目は、NHKは、強大なネットワーク、それから最新技術を駆使した設備もあります。たくさんの人員もいます。その中で、NHKの首脳陣は、親方日の丸で、あぐらをかいており、放送の内容については、担当者任せになっているように見えます。もう少し、中に入ってほしいと思います。

６点目は、いま、世界中で地球温暖化が問題になっています。しかし、放送を見ていると、あまりその点に気を配っていないように思います。例えば、気象情報で、アナウンサーが「山間部」「山沿い」と表現することがあります。「山間部」なら「山あい」に、「山沿い」なら「山の手」といった、もう少しやさしい言葉にすると、もっと環境のことについて考えるようになるのではないでしょうか。

(今井副会長)

群馬県と栃木県の県域放送についてのご質問がありましたが、皆さんご存じのように、金沢放送局からは、夕方の『デジタル百万石』などで石川県民の方々へ地元の細かな情報をお伝えしています。しかし、関東地域の茨城県を除く１都５県では、東京タワーから出ている１つの電波で同じ放送しかお届けできていません。そこで関東地域の北側に位置する群馬県と栃木県にお住まいの方々に対し、地元の細かな情報をお届けするサービスをしていくための準備を進めています。

凶悪犯罪、凶悪事件の報道についてですが、NHKとしては、興味本位にならず、伝えなければいけない情報をきちんと伝えようと努力しておりまして、細かな犯罪の手口を教えるような報道はしていません。ただ、振り込め詐欺のキャンペーンなどで、「こういうことには気をつけて

ください」という放送はしています。
(末田アナウンサー)
　ＮＨＫでは今も、『日本の、これから』という番組で、年に数回、激論を交わしています。また、ＮＨＫと民放でコラボレーションした番組もあります。ＮＨＫ、民放ともに、いいところを発揮し合って、互いにいいものを作り上げていこうという取り組みを進めています。
【会場参加者】
　テレビ中継などで、例えば農家に行って農家の人が横にいるのに、リポーターやアナウンサーがいかにも知ったかぶりをして、さも自分の意見のように説明することがあります。朝の『生活ほっとモーニング』の中のクイズ形式のコーナーでも、学者や研究者が出演しているにもかかわらず、キャスターがいろいろと説明することがあります。その点は改めてほしいと思います。
　それから、ＮＨＫとは限りませんが、皇室に対する言葉遣いが、敬語ではなく友だちみたいな言葉遣いをしていることがあります。せめて尊敬語ぐらいは使うべきだと思います。
【会場参加者】
　いろいろな番組を見ていると、取材先でいきなり相手方の都合も聞かずに話を聞いているように見えることがあります。そうではないことを伝えるため、ときには収録の裏側を紹介してはいかがでしょうか。
　それから、先ほどの方とは逆の意見ですが、皇室に対する敬意について、例えば週刊誌のように勝手な憶測で書く記事はひどいと思いますが、「話した」「言った」とかいう言葉は、私はそんなに不敬に当たらないと思います。普通の人と、全く同じ言い方はよくないかもしれませんが、普通に丁寧な言葉遣いをすれば、それでいいと思います。
【会場参加者】
　私は七尾市の商店街から参りました。全国的に商店街はさびれる傾向にありますが、私たちのところは、「一本杉花嫁のれん展」を開催するなど、とても元気に頑張っている商店街ですので、ぜひ番組で取り上げてほしいと思います。また、全国で頑張っている商店街を全国放送で取り上げていただければ、各地の商店街やそこで働く人たちも、もっと元気になると思います。また、「マクベス」は七尾市、能登半島、和倉温泉に大きな経済波及効果をもたらしていただいたと感謝しております。
(末田アナウンサー)
　『ご近所の底力』という番組では、いろいろな悩みを抱えているまったく違う地区の人たちが一堂に会して、お互いのいいところを紹介し合っています。テレビを通じて、うちの商店街でもこんなことをしようという輪が広がっていくといいですね。
【会場参加者】
　経営方針に、「衛星デジタル放送をハイビジョン２波にする」とありますが、今のＢＳ放送はどのようになるのでしょうか。
【会場参加者】
　私は『ラジオ深夜便』を１週間のうち最低４回は聴いています。そのキャスターの件ですが、一人ひとりの個性を大事にした番組づくりをしていただければと思います。例えば須磨佳津江さ

んは、本当に謙虚で丁寧な話し方をされており、その姿に非常に共感しました。
　それから、私が見逃したのかもしれませんが、番組のキャスターが突然変わることがあります。転勤時などで番組を変わるときにはあいさつをしていただければと思います。
(末田アナウンサー)
　公共の電波ですから、あまり個人的なことは言わないのですが、番組を変わるときには、「お世話になりました。来週からは誰々にバトンタッチします」などのコメントは言っていると思います。それだけ皆さんになじんでいただいているということだと思いますので、ご要望として承りました。
(永井技師長)
　ＢＳ放送のチャンネルの件ですが、地上放送が完全にデジタル化される日と同じ平成23年７月24日にＢＳ放送もデジタル化します。現在ＢＳ放送は、ＢＳ１、ＢＳ２、ハイビジョン放送の３波ですが、ＢＳ１、ＢＳ２は、ハイビジョン画質ではありませんので、今の３つのチャンネルを１つ減らし、２チャンネルのハイビジョンチャンネルにする計画です。
(今井副会長)
　衛星の３チャンネルにはそれぞれ国から役割が与えられており、「ＢＳ２」は、地上放送の電波が届かない地域に衛星で放送をお届けしています。それが地上デジタルに切り替わると、電波の届かない地域がほぼなくなり不要になることから、なくす方向で準備を進めています。
　それから、元気の出る番組を作るというのは大事なことです。特に去年の秋以降、景気が非常に悪化し、日本の経済も伸び悩んでいます。それでも頑張っている方はたくさんいますので、そういった方々をいろいろな番組で折に触れて取り上げてまいります。
　皇室への言葉遣いについては、きちんと敬語を使うという決まりがあります。もし、それが乱れることがあるとすれば、私たちの指導の行き届かないところですので、きちんと対応していきます。
　それから、放送の裏側を紹介してほしいというご要望についてです。最近では、『坂の上の雲』をどうやって撮影しているのかを時々お見せしていますが、いろいろな番組づくりにはそれぞれ特徴がありますので、そうした裏側をお見せする機会がもっとあってもいいかもしれません。今後検討いたします。
【会場参加者】
　以前、『アナウンサーにＱ』という番組がありましたが、その中で、アナウンサーの過去の恥ずかしい映像が放送されて、本人が少し嫌な思いをされていたようです。裏側を紹介するとしても、差し支えない範囲でやってほしいと思います。
(末田アナウンサー)
　あの番組の過去の映像は、「実は恥ずかしながら新人のときこんな番組がありました」ということで、本人が用意している場合が多く、本人が知らずに映像が番組に出るということはありません。
(今井副会長)
　先ほど、トキの映像を教材に、というご意見がありましたが、ＮＨＫには、独自に撮影した自

然や環境に関する映像がたくさんあります。これを、インターネットで皆さんがごらんになったり、学校で使ったりすることができるよう、今、計画を進めています。また、NHKが権利を持つ映像をインターネットで提供して、子どもさんたちが自分でいろいろな番組を作ることができるようにすることもこの10月末から始めました。教育の場でNHKの持っている映像を有効に使っていただけるよう、私たちも努力してまいります。

それから、親方日の丸であぐらをかいているという厳しいご指摘がありましたが、その点については、経営委員からそのようなことのないよう厳しく指導を受けています。皆さまから受信料をいただいて、編集権の独立のもとで公平公正に放送するNHKのような公共放送がある国は、世界でもそう多くはありません。この公共放送を国民の皆さまとともに守り育てていくことは、非常に大事なことと思います。NHKは、１年間に約450万件の電話やメールをいただきます。それらを全部分析して、お答えが必要なものはお答えし、NHKの仕事のやり方で直さなければならないものは改めています。その具体的な内容については、毎月、経営委員会に報告し、視聴者の皆さまにもホームページで公表しています。つまり視聴者の皆さんの声が一番大事であり、その声を経営の中に反映するよう努力しています。もし、あぐらをかいて仕事している者がいるとするならば厳しく戒めてまいります。そして皆さんの安全と安心に寄与し、役に立つ情報、楽しい番組をお届けできるように、努力していきたいと思っています。

(野間委員)

先ほど全国の商店街がさびれているというお話がありましたが、これは、まさに地域放送局にかかわるたいへん重要なお話だと思いました。地域のさまざまな問題に積極的にかかわり、地域の特色や課題を全国で共有することは、今の社会の中では非常に大切なことだと思います。日本中で同じような課題や問題があり、その情報を他の地域の方々に見ていただく。その情報を見た方からまた情報を送っていただく。そういった地域間のネットワーク作りの手助けは、全国の都道府県に強力なネットワーク体制をしいているNHKにしかできないことだと思います。

それから、他社のスタッフなどを交えた討論番組についてご意見をいただきましたが、NHKには、さまざまな問題について考えるヒントを提供していく番組や、環境問題、社会の中で支え合いの意識を持ちあっていけるような番組づくりを求めたいと思います。そのためには、地域の放送局が市民の中に入って情報をつかむための取材能力を高めなければなりません。それらは予算の問題にかかわってきますので、持ち帰りまして経営委員会で検討したいと思います。

【会場参加者】

NHKには、多くの意見が寄せられるとのことですが、NHKは最近変だという手紙は来ませんか。選挙報道を見ていても、自民党は悪い、民主党は事業仕分けとかしていて格好がいいみたいに、民放ほどではないけれど、まるで民主党の味方のようです。私はどちらでもいいのですが、この国が正しい方向に向かってほしいのです。NHKのファンだからこそ、NHKにはそういう態度であってほしいです。外国人の地方参政権、日本国籍付与などについて正確に報道していただきたいと思います。

【会場参加者】

先ほど敬語の問題が出ていましたが、敬語は何も皇室だけではありません。最近、「見ていら

っしゃった」とか「行かれて来ました」など敬語の使い方に違和感を覚えます。丁寧語の使い方についてもう少し話し合いをしていただきたいと思います。

それからラジオの深夜放送は、運送業など夜仕事をしている方々にとっても欠くべからざるものだと思いますが、テレビについては、もう少し経費削減をしてもよいのではないかと思います。

(深谷委員)

先ほど、NHKが中心になって、民放や放送にかかわる人々と協力し、互いに頑張っていく、その中心にNHKがなることはよいことだというご意見をお聞きして、たいへんうれしく思いました。

先ほど今井副会長から話がありましたとおり、世界でNHKのような公共放送がある国はそれほど多くありません。公共放送の価値は、皆さんが認めているように、非常に重大なものがあります。例えばスマトラ沖の地震が起きたときに、報道の内容、やり方を含めて、NHKがアジアの中で中心的な役割を果たしてくれていることを私は非常にうれしく思います。直すべきところもありますが、NHKも頑張っており、世界の中で自慢に思えるNHKになってもらいたいと思っています。その意味では、先ほどのお話はたいへんうれしく聞かせていただきました。

(今井副会長)

民放との協力でいえば、地方の民放局が作るドキュメンタリーの中には非常にすばらしい番組があります。ところが民放の場合、スポンサーがつかないことなどから、その地域のみで放送して全国には伝えられない、あるいはいい時間帯に放送することができないというようなことがあるようです。NHKでは、民放も含め、全国のドキュメンタリー番組を対象としたコンクールで評価の高かった番組をお借りして、全国の皆さんに見ていただくというようなこともしております。

それから民放とのコラボレーションの話もありましたが、どこか特定の放送局ということではなく、民放の皆さんから提案がある場合もありますし、NHKの若い職員から提案がある場合もあります。これからも新しいことに挑戦していきたいと思います。

(末田アナウンサー)

言葉遣いやアナウンサーの言葉の乱れが気になるというご指摘はたくさんいただいています。アナウンス室では、間違いが発見されたり、間違いを起こしそうな事例については、イントラネットを活用して全体で共有できるシステムを使ったり、みんなで討議をしたりして、注意、教育をしています。それでもときどき間違いはあるかもしれません。私たちの中でもその都度指導していますが、またお気づきの点がありましたらご指摘ください。

第２のテーマ：NHKの経営など全般について

【会場参加者】

デジタル化になると、受信料を払っていない人には正常な画面を見ることができなくするような技術はあるのでしょうか。私が数年前にケーブルテレビに加入した際、衛星放送を見るのにカードの登録をしないと番組を正常に見られなかったので、地上デジタルも同じようにすれば、受

信料も100％収納することができるのではないでしょうか。

【会場参加者】

私の地域に受信料を払っていない人がいます。子どもさんがいる家庭ですが、テレビを見ていても払っておらず、そのお父さんが「そんなのは別に払わなくてもいい」というような言い方をしています。それを聞いている子どもたちに悪い影響があるのではないかと危ぐしています。デジタル化すると法的な取り締まりができるようになるのでしょうか。また、支払率は、75％とか78％ではなく、せめて90％から95％ぐらいになれば、還元するための資金も出てくるのではないでしょうか。

【会場参加者】

私もスクランブル化は技術的にできると思いますので、ぜひ進めるべきだと思います。災害時など、どうしても国民に伝えなければならないときはスクランブルをはずせばいいと思います。NHKをまったく必要としていない人もいます。時間がなく、見たこともないという人もいます。そういった方からも同じように受信料を取るのは、無理があると思います。ですから、スクランブル化を進めてください。

【会場参加者】

私が学生の頃、NHKでアルバイトをしていた知り合いの人から、受信料が本来の目的以外に使われているから払わなくていいという話を聞き、びっくりしました。ほかにも払わないという話を結構聞いています。そこで、どのような流れで受信料が使われているのかをはっきりしていただきたいと思います。受信料が、不正がなく、信頼できる楽しい番組を作るために正しく使われているということがわかれば、皆、受信料を払ってくれると思います。

【会場参加者】

私の息子にNHKをどう思うか聞いたところ、NHKは見なくてもいいし、民放だけで十分だということでした。それで、NHKもかなり子会社化を進めているようですので、そろそろ本体も民営化の話があってもいいのではないかと思います。

それから、国会では今予算削減がいろいろ取りざたされていますが、NHKでは経費節減の努力をきちんとしているのでしょうか。例えば、NHKはアナウンサーやキャスターの人数が多過ぎます。それにもかかわらず、勉強もしていない、しかも高額の出演料を必要とするタレントがかなり採用されています。内部の人間を活用しながらいい番組を作ろうというスタンスが欠けているのではないかと思います。

また、マンネリズムで長い間放送されている番組が多々ありますので、その点も見直すべきではないかと思います。

（永井技師長）

デジタル化になるとスクランブルをかけて、受信料を支払わない人には見えないようにすることは技術的には確かにできます。しかし、やはりNHKは公共放送として皆さんに支えられて放送をお届けしています。受信機を設置された方から受信料をいただき、その受信料を皆さんから公平にいただくための努力をしています。公共放送としては、一部の人だけに支えられるのではなく、皆さんに支えていただくのがふさわしいと考えています。しかし、スクランブル化の是非

については、これからも皆さんと一緒に議論することが必要だと考えています。
(岩崎代行)
　放送法では、テレビを設置した場合には受信契約を結ぶことになっていますが、罰則規定がないこともあり、支払率は現在72%程度であり、経営計画で３年後75%、５年後78%を目標にしています。本来は100%の方に支払っていただきたいのですが、なかなかそうなっていません。支払率を高めていくためには、いい番組を作り、それを見ていただくことが大切ですが、現状では高齢の方にはよく見ていただいていますが、20歳代など若い人にはなかなか見ていただけていません。先日若い大学生と語り合う機会がありましたが、彼らの中には必要な情報はもっぱらインターネットで入手しているという人もいました。このように、放送と通信の融合という時代の大きな転換点を迎えているということもあります。こうした難しい状況の中ですが、経営委員会は執行部に対して、受信料の支払率を上げる努力をするとともに、明日から始まる『坂の上の雲』など、民放ではできないNHKならではの国民の皆さんに喜んでいただける番組を作ってほしいということをお願いしています。
(深谷委員)
　不公平感の連鎖が起こることや、受信料の支払率がこれでいいのかということは、経営委員会としても大きな問題だと思っています。一方で、各家庭にお邪魔して受信料の支払いをお願いしていくにはたいへんな費用と労力がかかります。転居者を追いかけきれないとか、ロックマンションなどは中に入れないという問題がありますが、NHK側もかなり努力しているということも聞いております。その中で、不公平感をそのままにしないために、数がまだ限られておりますが、長期不払いの方には、訴訟を起こしたりもしています。いずれにしても、不公平感の問題は最大の課題だと考えています。
(今井副会長)
　受信料が別の目的で使われているようなうわさを聞いたというお話がありましたが、NHKが皆さんからいただく受信料は、大きく分けて３つの目的で使われています。１つは、放送を作るため。２つ目は、放送を送り届けるためで、放送局の設備の維持や、金沢放送局もNHKの放送局の中でも古い建物の１つですが、これを新しいものに建てかえたりするためのものです。３つ目は、人件費です。NHKは、これらのほとんどを皆さんからいただいている受信料で運営しています。国からは、選挙のときの政見放送や外国向け放送のためのお金をいただいているだけで、これ以外は一銭もいただいていません。公共放送は、１つの共有財産として、皆さんからの受信料で支えていただくというのが、85年前にNHKができたときからの考え方です。
【会場参加者】
　最近、国の事業仕分け、国家公務員の天下りが注目されています。NHKの関連会社を見ますと、子会社が15団体、関連公益法人等が９団体、関連会社が５団体と公表されています。このうち子会社のほとんどの役員がNHK出身者で占められています。NHKも子会社を作り、天下り先を設けているのではないかと疑われてもしかたがないように思います。
　さらに、NHKの業務を外部と競争させる割合を５年間で25～30%にするとのことですが、これでは低過ぎます。NHKももっと効率的にやるべき部分がまだまだ多くあるように思います。

【会場参加者】

私もＮＨＫの業務の仕分けをしたいと思います。

まず、アナウンサーの数が多い気がします。例えば『ニュースセンター９時』は、メインのアナウンサーが２人、天気予報が１人、スポーツが１人の計４人ですが、天気予報、スポーツを含め、メインの２人で十分ではないでしょうか。

それから、女性アナウンサーは、いつも着ているものが変わっていますが、１つのユニフォームにすることはできないでしょうか。

それから、オリンピックや海外の催しがあると、そこに日本からアナウンサーなどを派遣していますが、他国にもＮＨＫの支局があり、そこに職員がいるはずなので、その人たちが代行することはできないのでしょうか。そうした企業努力によって、少しでも経費を減らせるのではないかと思います。

【会場参加者】

金沢放送局では、契約社員を募集しているようですが、金沢放送局の職員と契約社員はどのぐらいの割合ですか。また、契約社員について、ＮＨＫでは期間満了まで使っているのかを教えてください。

【会場参加者】

デジタル放送には、データ放送に休日当番医などの生活情報が載っていて便利です。私もこうしたデジタル放送のよさが最近わかってきました。いついつまでに終わるから準備をよろしく、と言うばかりではなく、こうした地上デジタル放送のよさをもう少し上手にアピールしてほしいと思います。

【会場参加者】

受信料は、視聴者としては当然払うべきだと思います。でも、理由があって払えない人もいると思います。ＮＨＫでは、払えない理由を調査しているのでしょうか。生活が苦しくて払えない方には援助があってしかるべきだと思いますが、お金持ちでも払っていないのは、やはり不公平だと思います。

【会場参加者】

ＮＨＫも本部を移したらどうでしょうか。静岡には新幹線も止まりますし、空港もできました。職員の移動の便などを考えて検討してはどうですか。

それから、川越を舞台にしたドラマがありましたが、内容が変だったので、見るのをやめました。石川県を舞台にしたドラマを作ってください。

【会場参加者】

金沢放送局の建物は全国でも古いほうだということですが、耐震性などは大丈夫でしょうか。いざというときは他局からの応援もあるのでしょうが、途中の道路が混んでいたり、崩れていたりという可能性もあります。金沢市内にも適地がいくつかありますので早急に移転されてはどうでしょうか。

(岩崎代行)

ＮＨＫの経営に関する皆さんからのご意見は、私ども経営委員も全く同感で、同様の意見を以前から執行部に対して言ってきました。

例えば、３か年経営計画を策定する過程では、ご指摘があった子会社の問題や競争契約の推進などについて指摘し、議論しました。そして予算は、無駄をなくして、一番大切な放送を充実させるためにシフトする、24年度には受信料の10％を還元する、といったことを決めました。この10％還元にあたっては、経費を一律にカットするのではなく、放送に力を入れ、それ以外については、競争入札などをきちんとすることにより、質を落とさずにコストを落とすといった取り組みにより実行したいと考えています。言うならば世間の一般常識をＮＨＫにもあてはめていくということです。この３か年経営計画を着実に実行することで、ＮＨＫをよくしていきたいと考えています。

そしてちょうど今、私どもは来年22年度の予算審議を進めていますが、その中でも、経営委員からはそれぞれの立場でいろいろなポイントについて指摘をしています。今日初めて伺ったご意見はまた新たに取り入れさせていただき、よりよい公共放送ＮＨＫとなるよう、そして、皆さんに本当に「ＮＨＫはいいな」と思っていただけるよう放送を通じてお返ししたいと思っています。

(牧野局長)

金沢放送局で働く人の数ですが、ＮＨＫの職員は約80人です。そのほかに、番組制作、ニュース制作、技術、営業、総務の各部門で契約により働いていただいている方が、おおよそ60人います。それぞれ契約に基づいて、本人と意思確認をしながら進めております。

会館の建て替えについては、かつては金沢市内の別の場所に移転するという話がありましたが、残念ながらその計画は断念いたしました。引き続き会館の移転については、いろいろなお話を伺いながら検討してまいります。

前半に、能登地方の取材やトキの話がありましたが、金沢放送局は来年80周年を迎えます。能登についても、改めて丁寧に紀行番組的なものを作ってみたいと計画しています。これまでも石川県の話題をいろいろな形で番組にしてきましたが、これは石川県の皆さんと私どもの共通の財産だと思っています。80周年の計画の中で、アーカイブス的な形も含め、検討してまいります。

(永井技師長)

地上デジタルのメリットについては、努力はしているのですが、なかなかうまく伝わりません。日曜日の朝６時55分から、『デジタルＱ』という番組を放送しており、そこでデジタル放送について、さまざまなことを説明しています。なかなかごらんいただけない時間帯かもしれませんが、ぜひともデジタル化のメリットをご活用いただきたいですし、私どももしっかりとＰＲしていかなければいけないと思っています。

デジタル放送にはデータ放送という機能があり、身近な気象情報や交通情報など生活情報が文字情報で表示されますので、ぜひご活用ください。また、デジタルになると高画質でとてもきれいな画面になります。

それから、全国のＮＨＫの放送会館は、阪神大震災の後に点検を行い、必要な補強をしましたので、阪神大震災クラスの地震があっても倒れませんし、機能も大丈夫です。ただ、この金沢の

放送会館は昭和37年建設で、新しい放送サービスのための機能面等で足りないところがありますので新しくしたいと考えています。

（今井副会長）

先ほど、外国からのスポーツ中継の話がありましたが、例えば、松井選手が出ているヤンキース戦にはNHKからは誰も現地に行かず、衛星で送られてくる映像を見ながら、アナウンサーと解説者が東京で中継をしています。オリンピックの場合は、オリンピックの開催国が、世界中に共通の映像を配信してくれます。ただ、その映像だけでは、例えば去年の北京オリンピックで、日本の選手がリレーで銅メダルを取ったあの瞬間の映像は見ることができません。女子ソフトボール、女子サッカー、マラソンの日本選手の映像は、日本からスタッフが行かないと撮れないのです。ですから、そのサービスをするために、日本から人を派遣します。それも、NHKだけではなく、民放と協力をしてやっています。このようにできるだけコストをかけずに、最小限の機材、人数で対応するなどいろいろな努力をしています。

事業仕分けについては、既に内部で取り組んでいますが、皆さんからいただく貴重な受信料ですので、さらに大事に使っていくよう努力してまいります。

子会社については、来年の春にもまた合併を行って、数を減らします。また、NHKには、公益法人の関連団体もいくつかあります。公益法人は、例えば国の援助資金を使って発展途上国へ『おしん』などの番組を提供する団体や、ご存じのNHK交響楽団などがあります。こうした公益法人についても、公益法人改革にあわせて、存続できるものは存続させますが、法の趣旨に合わないものは整理していきます。天下り問題のご指摘がありましたが、NHKの関連団体は、NHKが公共放送の使命を達成するのに協力するために設立されています。例えば、NHKでは、自分たちが制作した番組をＤＶＤにして売ることは法律上できませんので、NHKの番組を作って、それをＤＶＤにする会社が必要になります。このように、NHKと関連団体はそれぞれの役割を果たすために業務の仕分けをしながら仕事を進めています。今後も問題があれば、経営委員会の指導を得ながら、整理できるものは整理を続けていく計画です。

各経営委員の全体のまとめ

（深谷委員）

今日は、私たちが経営委員会でかなり議論している項目も含め、皆さんから厳しいご意見をいただきました。その中で例えば、放送の費用の問題についても、経営委員会はメスを入れ始めています。NHKは、過去に大きく収入が落ち込んだことがあり、その際は再放送を増やすなどしてしのいできました。それでは、収入が増えたら、増えた分をあるだけ使ってしまっていいのか。そうではなく、放送を充実させるために振り向けていくべきではないか。経営委員会としては、このような議論を尽くしたうえで３か年経営計画を作り、取り組んでいます。

また、透明性を高めるために、連結決算を導入したり、競争契約の比率を増やしたり、経営委員会の議事録公開なども進めてきています。

私は民間企業の経営者であり、また地域の代表でもありますので、こうした民間手法の導入を進めるとともに、地域の皆さんからいただいたご意見については、これまで以上に拍車をかけて取り組んでいきたいと思います。

(野間委員)

ＮＨＫは、平成16年の不祥事発覚のとき、受信料収入が大幅に落ち込み、大きな挫折を味わいました。しかし、その後ＮＨＫは信頼を取り戻すために努力をし、いろいろな面でずいぶんよい方向に変わってきていると思います。ただ、ＮＨＫをここまで変えたのは、私たち視聴者の力ではないかと思います。私も、皆さんとご一緒にＮＨＫをよりよい方向に持っていきたいという立場で、経営委員をさせていただいています。どうすればＮＨＫで働くスタッフが公共放送のために力を発揮してくれるか、その環境を視聴者みんなで作っていかなければならないときに来ているのではないでしょうか。ですから、皆さんにとって身近な地域の放送局に、あるいはコールセンターに、どんどん厳しい意見を寄せていただきたいと思います。そしてまた、ぜひ、よかったなと思うこと、よくやったなと思うことも、言って伝えてあげてください。そうすれば、番組を制作する人をはじめＮＨＫの職員は、より頑張ろうという意欲がわき、大きな励みになると思います。私も視聴者の一人ですが、皆さんにもぜひ一緒になってＮＨＫを支えていく、よい方向に持っていくということを考えていただきたいと思います。経営委員会としても、それらについて議論していきたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

(岩崎代行)

ご意見を伺っておりまして、皆さま方が本当に地元を愛され、地元をよくしたいという思いをお持ちであることがひしひしと伝わってきました。そして、厳しいご意見もありましたが、それはＮＨＫへの期待を込めたご意見と受け止めさせていただきました。

例えば、ＮＨＫの放送については、具体的に金沢、能登などの地域を活性化させるためにＮＨＫは努めてほしいというご意見をいただきました。あるいは、商店街の取り組みをＮＨＫを通じて全国に広く知ってもらい、その地元だけではなく、全国の商店街の発展につながるような取り組みをしてほしいというご意見もありました。こうした地域の力、地域の活性化にかかわる予算については、増やしていくよう私たち経営委員会も執行部に求めているところです。

受信料についても、厳しいご意見をいただきましたが、私どもは、公平負担の徹底に努めますとともに、もう一度原点に戻り、受信料をいかに有効に使うかを考えて実行していきたいと思います。そして、その結果生み出された収支差については、皆さま方に還元させていただくことを約束しています。

ＮＨＫの経営についても、ふだん私ども経営委員会が同じように感じ、執行部に申し上げているような多くのご意見をいただきました。私たち経営委員は、今日のご意見を力に、皆さまと全く同じ感覚で努めていきたいと思います。

今日は、こうしたいろいろなことを考えるための糧となるご意見をいただきましたので、今後に生かしていきたいと思います。本当に貴重なご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。

＜終了後の経営委員の感想＞

・ご参加いただいた皆さま一人ひとりの発言の中身が濃く、それぞれの発言に重みがありたいへん参考になった。

・地域の活性化へのＮＨＫへの期待が大きいことを強く感じた。ＮＨＫの経営のあり方についても私たち経営委員がもっと頑張らねばとの叱咤（しった）激励を受けた。

・参加者の皆さんは、まず、ＮＨＫの努力に対し、感謝や御礼の一言を述べた後、ご自身の意見、要望を述べておられた。ＮＨＫに対する好意をありがたいと感じるとともに、その礼儀正しさに感心した。

・古都「金沢」らしく、“礼”を重んじる姿勢や美しい日本の自然を伝える放送を求める声、ＮＨＫを愛するがゆえの細やかな指摘を多くいただいた。また、大胆な発想の提言もあり、目からウロコでたいへん勉強になった。今後の活動に生かしていきたい。

＜当日会場アンケート集計結果＞

１．性　別

| 男　性 | 女　性 | 不　明 |
|---|---|---|
| 37 | 12 | 7 |

２．年齢

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70歳以上 | 不明 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男　性 | 0 | 4 | 3 | 12 | 2 | 7 | 9 | 0 |
| 女　性 | 0 | 1 | 0 | 2 | 3 | 4 | 1 | 1 |
| 不　明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 2 | 0 |

３．今回のイベントを何でお知りになりましたか

| ①放　送 | ②ホームページ | ③新　聞 | ④人から聞いて | ⑤その他 |
|---|---|---|---|---|
| 32 | 2 | 3 | 18 | 1 |

４．今回のイベントに参加していかがでしたか

| ①たいへん満足 | ②満足 | ③ふつう | ④不満 | ⑤たいへん不満 |
|---|---|---|---|---|
| 15 | 20 | 16 | 2 | 0 |

５．一番印象に残ったコーナーはどこでしたか（複数回答）

| ①3か年経営計画ほか説明 | ②放送について | ③経営等全般について | ④キャスター・トークショー |
|---|---|---|---|
| 6 | 18 | 23 | 11 |

６．NHK経営委員会の仕事を知っていましたか

| ①よく知っていた | ②少し知っていた | ③知らなかった | ④その他 |
|---|---|---|---|
| 2 | 28 | 26 | 0 |

７．今回のイベントに参加して、NHK経営委員会の活動について理解が深まりましたか

| ①理解が深まった | ②特に変わらない | ③わからない | ④その他 |
|---|---|---|---|
| 39 | 11 | 3 | 2 |

［自由記述欄］

放送、イベント等について

・「ラジオ深夜便の集い」は、金沢では20年くらい実施されていないので、金沢に招いてほしい。
・『ニュース解説』の似顔絵は誰が描いているのか、その舞台裏を見せてほしい。
・討論番組を適時に増やしてほしい。政治のあり方について、国民の意見が言える機会になると思う。
・長寿番組がマンネリだとの意見があったが、『鶴瓶の家族に乾杯』などの番組は、マンネリではなく、地域の出会いなどを通じて地域を元気にする良い長寿番組だと思う。
・全ては番組の品質が解決してくれると思う。今以上にすばらしい番組を期待している。
・番組には、リラックスできる、しっかりしたタレントを使ってはどうか。
・ＮＨＫのご苦労が伝わってきた。これからの石川県の地場産業のためによい番組をお願いしたい。

受信料について

・受信料の支払率について、3年後75%、5年後78%は甘い。3年後85%、5年後90%にすべき。
・受信料徴収を公平にするには、スクランブル化が良い。ぜひ進めるべき。
・受信料の支払方法が、すべて振込みとなった最近でも支払率がまだ70%前後なのは不思議。事情があり、払えない人には温かい配慮が必要だと思う。

経営について

・説明が言い訳が多く、前向きな見解が少ない。やはり組織的な改革が足りない。
・経営委員の見識が重要であることから、しっかり活躍してほしい。さもなければ執行部の隠れみのにされてしまう。頑張ってほしい。
・民放のように商売に走りすぎるのは問題だが、収入のほとんどが受信料という体質から脱却するようにしてほしい。
・目の不自由な人のことも考えて、テレビよりもラジオに重きを置いていただきたい。「聞く放送」により、思考力、空想力が増し、認知症予防にも役立つと思う。
・ＮＨＫ金沢放送会館の老朽化に伴う建て替えの意見があったが、民放は郊外にばかりあるので、ＮＨＫは、街の中の放送基地として今後も存続してほしい。
・「ＮＨＫで作った映像は法律上ＤＶＤ化して売ることができない」との説明があったが、それならば正面から法改正を訴えていくべきだと思う。
・20歳代から30歳代の若者向けコンテンツも充実してもらえるとうれしい。
・ＮＨＫの番組は、たいへんな労力と努力で作られている。世界に誇る放送局だと思う。
・今日、経営委員の方々にお会いできて、感激したが、この頃のＮＨＫは民放と同じように、少し報道の方向が変だと思う。ぜひ、おかしなところは直してほしいと思う。
・能登のアピールと共に加賀、金沢のＰＲもぜひお願いしたい。
・ＮＨＫ金沢の３人のアナウンサーがすてきで、来てよかったと思う。
・近頃のＮＨＫは何か右傾化の傾向があるので要注意だ。
・これからも公平公正な番組をお願いしたい。
・戦争中の「大本営発表」のてつを踏まないようにしてほしい。
・収入の主たる柱が、“受信料”であることは当然だが、著作権等の課題があるにせよ、すばらしい放送コンテンツをアーカイブとして充実させ、収入の柱に加えていただきたい。

・ＮＨＫの職員の数が多いように思う。
・ＮＨＫも事業仕分けをしっかり行い、無駄を省き、よりよい番組作りをしていってほしい。
・視聴者から厳しい意見が出たが、公共放送の本質を知って、襟を正して活躍してほしい。大人向けの放送も大事だが、子ども向けの放送も大事だと思う。
・多くの意見が聞けて、楽しい時間だったが、経営面では少し言い訳がましく聞こえた。経営委員は年長者が多いが、若い人の新しい考え方を取り入れていってほしい。
・こちらで考えていたこと、今まで聞いたことについての疑問がクリアになったのはたいへん意義があった。
・経営委員の努力に期待している。
・ＮＨＫが経営において日々努力していることを強く感じた。
・受信料を１円も無駄にしないよう努力していることがわかり、うれしく思った。

語る会の運営等について

・今後、こういう機会をもっと増やしてほしい。
・１回当たりの質問者と質問数が多く、回答者が十分に答えられていなかったのが残念だった。
・おもしろかった。こんな会があるとは思わなかったので、来て良かった。また来年もこんな会があれば参加したい。
・もっと質問コーナーに時間をかけてほしかった。
・地域の活性化のために放送の力を借りようと願っている人たちのご意見などが聞けて、今日は勉強になった。
・平和的な司会進行に感謝する。
・キャスター・トークショーはとても良かった。直接キャスターの方々との意見交換や交流が持てる“デジタル百万石モニター会員”みたいなものがあればと思う。
・参加してよかった。できたら、毎年語る会を開催してほしい。
・いろいろなことがよくわかった。ありがとう。
・質問者の質問内容が悪すぎた。事前アンケートを取ったのだから、もっとセレクトしないと駄目だ。いずれにしてもＮＨＫ頑張れ。
・しっかり運営管理がされていて、ＮＨＫスタッフの発言、言動にも満足し、安心した。これからの放送に期待したい。
・野間委員のコメントがとても良かった。略歴の名前にふりがながついていたのが良かった。

その他

・開局 80 周年記念に、40 年前に初めて放送された、トキ「能里」を捕獲したニュースをＶＴＲやＤＶＤに収め、小中学校に寄贈してください。